

校長室だより

令和6年3月6日



令和5年度も、あと3週間ほどで終わろうとしています。みなさんにとっては、進級・進学という大きな節目を迎える季節となりました。この通信も、いよいよ今年度の最後の号となります。毎月、みなさんに一緒に考えてほしいことや伝えたいことをつづってきました。今回のテーマは「対話力」です。

「対話力」とは「聴く力」

私たちは、朝の挨拶から始まり、「会話」をして日々過ごしています。この「会話」に対して「対話」とは、お互いの立場や意見の違いを理解して、そのずれをすり合わせることをいいます。授業でも、自分の考えを互いに述べ合っ、違いやよさを発見したり、新たな価値を見つけたりしながら知識を増やしていくこともあります。みなさんの中には、「人と話すことが苦手だな」とか「つつい一人て話し過ぎてしまう」という人もいるかもしれませんね。「対話」では、まずは相手の話をよく聞くことを心がけましょう。よく聞いているうちに、「なぜかな」「自分と同じだ」「自分とは違うな」と思うことに気づくでしょう。何が話されているのかを理解し、自分なりの考えをまとめ、それを相手に伝えてフィードバックしましょう。「対話」に大切なことは、話すことよりもむしろ、「聴くこと」「理解すること」です。自分の意見をただ主張するだけでなく、周囲の意見をよく聞きながら、自分の考えと比べ、再構成して、そして話すということができるようになると、より信頼される人になれると思います。



みなさんの今後の人生において、立場や考えが異なる相手と向き合うことがたくさんあることでしょう。その時、相手を尊重し、自分自身の考えを柔軟にしながら誠実に話すことで、お互いを信頼し、新しい出会いの中でも絆(きずな)や縁(えん)を深め合う関係を築いていってほしいと思います。

3.13 第43回 卒業式

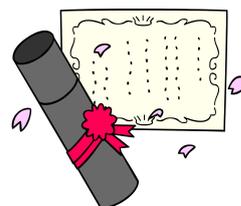
歳月の流れは速いもので、3年生とお別れする日が近づいてきました。

3年生の中には、すでに進路が決定した人もいれば、これから最後の入試に臨む人もいます。

思えば、小学校卒業前からの臨時休業、中学校入学後もたび重なる学級閉鎖・オンライン授業など、多くの制約が続きましたが、3年生のみなさんは「今、できることを精一杯やる」という姿勢で、いつも笑顔を決めやらずに取り組んでくれました。日々の学校生活の様々な場面で1・2年生をリードし、鹿中の伝統を受け継ぎながら、「後輩との絆」という成果を残してくれました。

3年生は、まもなく、それぞれが選んだ進路に向かって出発します。この3年間、とりわけ「感染症と向き合いながら」取り組んだ様々な活動だったからこそ、そこで培われた「絆」が、これからの人生の大きな支えになることでしょう。

1・2年生のみなさんは、11日の「3年生を送る会」はもちろんのこと、卒業までの残された時間を先輩とともに大切に過ごしましょう。次は、みなさんが先輩たちの「がんばり」を引き継ぐ番です。



保護者の皆さまへ

平素は本校教育にご支援・ご理解を賜り、誠にありがとうございます。

学校評価アンケートの回答にご協力いただき、ありがとうございました。

「生徒・保護者アンケート」の結果・分析は、学校ホームページの「2023年度学校評価」に掲載します。今後の教育活動に活用させていただきます。

いよいよ今年度もあと少しで終わります。お子様も、気持ちの切り替えがとりわけ必要な時期となります。引き続き、ご家庭でもお子様との対話を通して、ご支援いただきますようよろしくお願いいたします。

